

船橋を代表する初詣スポットの船橋大神宮。毎年多くの方が参拝に訪れます。元日には境内の神楽殿で神楽が奉納されるほか、県指定文化財の「灯明台」も一般公開され、灯明台内部を見学することができます

冬

神楽、オビシャ、初ばやしなど

一年でもっとも多くの行事が行われる季節

旧暦 11月 13日 大火揚

12月 酉の日 酉の市 / 船橋大神宮の神楽 (船橋大神宮の神楽は二の酉のみ)

1月
1日 正延寺 木造五智如来坐像御開帳
1日・3日 船橋大神宮の神楽
1日 高根町神明社の神楽
7日 飯山満町大宮神社の神楽
7日 田喜野井、三山のオビシャ
初旬 出初式 / 梯子乗りと木遣り歌

上旬 灯明台祭
11日・20日 古和釜のオビシャ
14日 筒粥神事
15日 二宮神社の神楽
17日 金堀の初ばやし
23日 楠が山の辻切り

2月
3日 節分祭 (船橋大神宮の神楽)
3日 節分祭 (二宮神社の神楽)

初午 中野木の辻切り
28日 大仏追善供養

P81・D-4 三山／二宮神社 見学自由

旧暦
11月13日

冬の夜に灯る かがり火

おお び よ

大火揚

旧暦の11月13日に二宮神社で行われている大火揚。平安時代、藤原師経が都から当地に流されてきたときに、里人たちがかがり火を焚いて迎えたことに由来しているといえます。拝殿で神主による式典執行が行われたのち、わらを燃やしてかがり火とします。(師経にまつわる二宮神社の行事には「お舟流し」(P13)もあります)



▶防火安全のため、燃やすわらはは2〜3束



所 船橋市三山5-20-1 (二宮神社)

時 18:00〜

☎ 047-436-2898

(船橋市教育委員会 文化課)

交 JR津田沼駅北口から二宮神社行きバスで終点下車

薬田台・三山エリア

船橋
ばなし
話

文化財を次世代にも残すために

文化財防火デー

毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。昭和24年(1949)1月26日に法隆寺金堂壁画を焼損したことに基づいています。この日を中心に文化財を火災・震災などの災害から守るため、文化財防火運動(消防訓練・立入検査・防火指導)が行われています。

文化財は共有の財産です。防火・防災の意識を高めて、次の世代にも残せるようにしたいですね。



▶消防訓練では放水も行われる

P79・C-3 宮本／船橋大神宮

市指定無形民俗文化財(神楽)

見学自由

12月
二の酉

神楽の囃子が酉の市の夜に響く

酉の市／船橋大神宮の神楽

船橋駅周辺エリア



11月の酉の日に開催されることの多い酉の市ですが、船橋大神宮境内では12月の酉の日に市がたちます。この日は船橋大神宮境内にある、大鳥神社の祭礼です。参道には縁起物の熊手を売る屋台が並び、お客が熊手を購入すると手締めを行います。商売繁盛(はんじようふさ)のご利益から、商売をしている方が買っていかれることが多いようです。

酉の市は、一の酉、二の酉の2日行われますが、二の酉では境内の神楽殿で神楽が奉納されます。神楽を伝えているのは、船橋大神宮楽部(がくぶ)の方たち

です。普段は日中行われている船橋大神宮の神楽ですが、この酉の市で奉納される時だけ、夜見ることができます。



神楽は19時〜20時くらいまで舞われる

所 船橋市宮本5-2-1 時 19:00～(神楽)

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会 文化課)

交 京成電鉄 大神宮下駅から徒歩3分

指 平成7年6月26日

➡ 近隣で見られる文化財

① 灯明台(船橋大神宮)……………P43

② 鐘桜堂跡 附 和時計 蜀山人筆(了源寺) ……P50

P80・B-3 西船／正延寺

県指定有形文化財(彫刻)

毎年元日のみ見学可能

1
月
1
日

元日にだけ御開帳される秘仏

しょうえん じ もく ぞう ご ち によらい ざ ぞう ご かいちょう

正延寺 木造五智如来坐像 御開帳

正延寺は明治41年(1908)に大日山浅間院正覚寺と深堀山地蔵寺延命院が合併して成立した寺院で、寺は延命院の跡に建てられています。木造五智如来坐像は正覚寺に安置されていたもので、秘仏ですが毎年元日に御開帳されています。

五智如来坐像の中央に位置する大日如来は、太陽の光をさらに上回る智慧の光明をもつ仏という意味で、密教では最高至上の絶対的な存在と考えられています。密教の中心経典である「大日経」「金剛頂経」の教主であり、それぞれを図示した胎蔵界・金剛界曼荼羅の主尊です。5つの「智」を表す五智如来は胎蔵界・金剛界の両部にあり、どちらも大日如来とほかの4如来の五仏で構成されていますが、大日如来の結ぶ印相と4如来の構成がそれぞれで異なっています。

正延寺の五智如来像は、中尊が胎蔵界大日如来であること、4如来像のうちの1体が開敷華王如来とみられていることから、胎蔵界五智如来と判定されました。材質や構造、作風から、もともと胎蔵界五仏として一具同時に作られたものとみられています。

所 船橋市西船3-3-4

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会文化課)

交 京成電鉄 京成西船駅から徒歩1分

指 平成5年2月26日

→近隣で見られる文化財

① 葛羅の井……………P53

② 成瀬氏の墓 附 墓誌(宝成寺)……………P54

▼左から、無量寿如来、開敷華王如来、大日如来、宝幢如来、天鼓雷音如来



西船橋エリア

P79・C-3 宮本／船橋大神宮

市指定無形民俗文化財

見学自由

1月1日・3日

初詣と共に神楽を見られる

ふな ばし だい じん ぐう か ぐら

船橋大神宮の神楽

船橋駅周辺エリア

初詣でにぎわう船橋大神宮では、元日と3日の祈禱祭で神楽が奉納されます。元日は11時頃から、3日は11時30分頃から始まります。

船橋大神宮に伝えられている神楽は、①みこ舞、②猿田舞、③翁舞、④知乃里舞、⑤天狐舞、⑥田の神舞、⑦蛭子舞、⑧恵比寿大黒舞、⑨笹舞、⑩山神舞、の計

10座。このうち、7、8座ほどが当日に舞われます。使用される楽器は、舞楽に用いる楽太鼓と、締太鼓、笛の3種で、それぞれ一人ずつ、3人で演奏します。

現在、船橋大神宮で演じられている神楽の由来はよくわかっていませんが、曲目の構成から「十二座神楽」の系統だと考えられています。



▲初詣の参拝者の列は外の歩道まで続く

蛭子舞のように海に関係の深い曲目が大切にされていることも、船橋が江戸湾に臨んでよい漁場をひかえた土地であったことに関連した特色と言えます。



▲元日と3日の祈禱祭で演じられる神楽

所 船橋市宮本5-2-1

時 1月1日/11:00～ 1月3日/11:30～

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会文化課)

交 京成電鉄 大神宮下駅から徒歩3分

指 平成7年6月26日

→近隣で見られる文化財

①西福寺石造五輪塔・西福寺石造宝篋印塔(西福寺)・・・P42

②灯明台(船橋大神宮)・・・・・・・・・・・・・・P43



P82・B-2 高根町／高根町神明社

市指定無形民俗文化財 見学自由

1月1日

元日朝の神楽、午後には大神宮に奉納も

たか ね ちょう しん めい しゃ か ぐら

高根町神明社の神楽

▶鬼(写真左)に奪われた玉を大山祇命(同中央)が取り返し、姫(同右)にささげる玉取り之舞



飯山満町・高根町エリア

高根町神明社では、1月1日、5月1日、10月15日の年3回、神楽を奉納しています。普段は夜に演じられる高根町神明社の神楽ですが、元日だけは昼間に見ることができます。

見つけた「歴代神楽連名簿」の記録によると、最初の奉納は明治6年(1873)。明治時代の初めに現在の柏市風早(旧沼南町)の塚崎神明社より習ったと伝えられています。

現在演じられている神楽は、「神子舞」や「玉取り之舞」など計14座です。使用する楽器は大胴(鉦打太鼓)、台拍子(締太鼓)、笛。大胴と台拍子はそれぞれ1人、笛は3人で、計3種5人での演奏になります。

午後(14時頃～)には船橋大神宮にも奉納され、大神宮の神楽殿で見ることができます。

所 船橋市高根町600 時 9:00～(※大神宮では14:00～)

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会 文化課)

交 JR船橋駅北口からグリーンハイツ行きバスで「高根小学校前」下車、徒歩15分

指 平成7年6月26日

➡近隣で見られる文化財

①八十八ヶ所札所大絵馬(観行院)……P61

②東葉高等学校正門……………P63



▲神子舞は市内でここだけ面をつけて舞う



P83・C-3 飯山満町／飯山満町大宮神社

市指定無形民俗文化財 見学自由

1
月
7
日

五穀豊穡を願う神楽

は さ ま ち ょ う お お み や じ ん じ ゃ か ぐ ら

飯山満町大宮神社の神楽

飯山満町・高根町エリア

▶天狗(猿田彦)



飯山満町大宮神社の神楽は、1月7日の七草と10月23日の例祭で、それぞれ夜に奉納されます。

飯山満町大宮神社の神楽が始まった年代ははっきりわかりませんが、谷津の本郷(習志野市)から伝わったという伝承があります。その後、一時期途絶えていましたが、村に不幸があった際に再度谷津から習って復活したといわれています。

市内のほかの神楽と同様、古い面や装束が大切に保管されていますが、そのなかに「文久三癸亥年(1863)九月吉日奉納 近藤四郎左衛門」と墨書された大黒の頭巾などがあり、江戸時代末期にはすでに演じられていたようです。



▲神楽は20時頃まで行われる。防寒対策をして見に行きたい

所 船橋市飯山満町2-843 時 17:00～

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会 文化課)

交 東葉高速鉄道 飯山満駅から徒歩10分

指 平成7年6月26日

➡近隣で見られる文化財

①木造地藏菩薩坐像(ゆるぎ地藏)……P62

②東葉高等学校正門……………P63



1
月
初
旬

江戸の火消の妙技を出初式で見る

で ぞめ しき はし ご の き や うた
出初式／梯子乗りと木遣り歌

出初式は消防関係者によって1月初旬に行われる仕事始めの行事です。隊員の表彰などが行われる式典のあとには、市指定無形民俗文化財の梯子乗りと木遣り歌の実演、消防音楽隊によるマーチングドリル、消防局・消防団による一斉放水などが行われます。

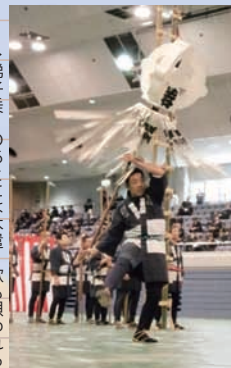
梯子乗りは船橋^{とびしよく}鳶^{わかとびかい}職組合若鳶会の人たちによって伝承され、高さ3間半(約6.3m)の梯子の上で、トオミ・セガメ・キモツブシなどの妙技が披露されます。



▲消防局員・消防団員が並ぶ、出初式



▶梯子乗りのあとには木遣り歌も唄われる



■江戸の消防組織“火消”

江戸時代初期には火消の制度が定められておらず、度重なる大火を契機にまず武家火消が制度化されました。江戸時代中期の享保の改革によって町火消が制度化され、やがて町火消が江戸の消防活動の中核を担うようになりました。

これら消防組織は、明治維新後に廃止・改編されますが、それが現代の消防署・消防団へと繋がっています。

▲高さ3間半(約6.3m)の梯子の上で行われる梯子乗り



所 船橋市習志野台7-5-1

時 9:30～(梯子乗りは11:00頃～)

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会 文化課)

交 東葉高速鉄道 船橋日大前駅より徒歩8分

指 昭和44年4月17日(梯子乗りと木遣り歌)

→近隣で見られる文化財

●坪井周辺……P70、71(文化財をめぐるお散歩マップ)

P79・C-3 宮本／船橋大神宮 見学自由

1
月

新成人が灯明台にあかりを灯す

とう みょう だい さい

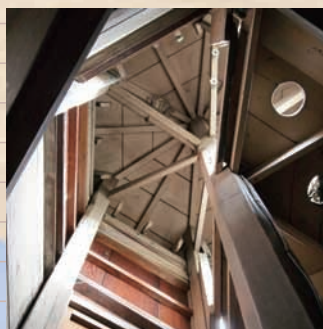
灯明台祭

船橋駅周辺エリア

昭和37年(1962)に県有形民俗文化財に指定された船橋大神宮の灯明台。この灯明台に年に一度あかりが灯るのが、毎年1月に行われている灯明台祭です。新成人が順にスイッチを入れ、全員が入れ終わると灯明台にあかりが灯ります。

また、1月1日～3日の3日間、普段は一般公開されていない灯明台内部が公開され、誰でも見学することができます。灯明台は3階建てで、1・2階は点火や見回りをする管理人の宿舎として使われていたとみられる和室、3階の灯室は西洋式灯台のデザインを取り入れた六角形のつくりになっています。

あかりの灯った灯明台(県指定有形民俗文化財)



▲新成人が順にスイッチを押す。
全員が押し終わるとあかりが灯る

▲灯明台の内部。
1月1日～3日の
間は一般公開
される

所 船橋市宮本5-2-1 時 17:00～

☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会 文化課)

🚶 京成電鉄 大神宮下駅から徒歩3分

➡ 近隣で見られる文化財

① 西福寺石造五輪塔・西福寺石造宝篋印塔(西福寺)・・・P42

② 鐘楼堂跡 附 和時計 蜀山人筆(了源寺)・・・P50



P81-C-4 田喜野井／子神社 P81-D-4 三山／二宮神社 P85-C-4 古和釜町／八王子神社 P84-A-2 八木が谷／王子神社 (見学自由)

1月7日
ほか

厄を射て！ 年頭に行う弓射ち行事

オビシャ

オビシャは年頭に行う弓射ち、または輪番のヤドによる神の受け渡しの行事が中心で、「お歩射」「お奉謝」「お備社」などの字を当てます。弓射ちを行うオビシャは市内では三山、田喜野井、古和釜、八木が谷の4ヶ所で、的の中央には“鬼”“虫”などの文字を記します。“鬼”は悪疫・悪魔など邪悪なもの、“虫”は田畑の害虫などを指し、それらを射抜くことでムラの平和と作物の豊作を祈願しています。

的の文字や射手は地域によって異なり、三山では的に文字はなく、田喜野井・古和釜では“鬼”、八木が谷では的の中心に“虫”、上下左右に“東西南北”と書かれています。また、古和釜では射手を子供(7歳未満の男子)が務めます。



▶ 田喜野井のオビシャの的には、鬼と書かれている
◀ 古和釜のオビシャの射手は子供が担当



▼ 三山のオビシャの弓は手作りされたもの

1月7日〈田喜野井のオビシャ(子神社)〉

所 船橋市田喜野井3-16-3 時 1月7日10:00～
交 JR津田沼駅北口から二宮神社行きバスで「旭ヶ丘」下車、徒歩8分

1月7日〈三山のオビシャ(二宮神社)〉

所 船橋市三山5-20-1 時 1月7日15:00頃～
交 JR津田沼駅北口から二宮神社行きバスで終点下車

1月11日・20日

〈古和釜のオビシャ(八王子神社)〉

所 船橋市古和釜161 時 1月11日11:00～
交 JR船橋駅または新京成電鉄 北習志野駅からバスで「古和釜十字路」下車、徒歩8分

3月3日〈八木が谷のオビシャ(王子神社)〉

所 船橋市八木が谷5-1
交 JR船橋駅からバスで「三咲神社前」下車、徒歩18分
【地図はP76～のエリア地図参照】



北部エリア
薬師台・三山エリア

P81・D-4 三山／二宮神社 市指定無形民俗文化財(神楽) 見学自由(神楽)

1月14日・15日

今年の作物の出来柄を占う

筒粥神事／二宮神社の神楽

薬円台・三山エリア

筒粥神事は三山の二宮神社で1月14日に行われる、鉄鍋につくった粥にヨシ筒を入れ、翌日に筒を割って今年の作物の出来柄を占う行事です。



筒粥神事は残念ながら公開されていない

14日の夕方に定められた三軒の家と氏子総代が二宮神社に集まり、神事の式典が執り行われた後、湯のたぎった鍋に米粉を入れ、栗の箸でかき混ぜます。その後、三本と四本につないだヨシ筒を粥の中に入れ、よくかき混ぜた後にヨシ筒を粥から取り出し、椀に受けて神前に供え、祝詞を奏上して終了になります。翌朝、神主が筒を割って今年の作物の出来柄を見て、その結果を申告として拝殿の柱に貼ります。

15日の春の例祭では神楽も奉納されます。二宮神社の神楽は、神事の厳粛さと祭礼における娯楽性を合わせもった神楽で、ひりこ舞ではタコが出てきて観客を笑わせたり、最後に行われる餅まきではたくさんの餅がまかれます。



15日に演じられる神楽



所 船橋市三山5-20-1
時 13:00～(神楽)
☎ 047-436-2898 (船橋市教育委員会文化課)
交 JR津田沼駅北口から二宮神社行き
バスで終点下車
指 平成7年6月26日
👉近隣で見られる文化財
① 斎藤その女等奉納句額(二宮神社)・・・P56
② 二宮神社社殿(二宮神社)・・・P57

P85・C-3 金堀町／日枝神社より

見学自由

1月17日

地域に伝わる悪魔祓い

かね ほり はつ

金堀の初ばやし

初ばやしと聞くと、笛・鉦・太鼓などで演奏する「囃子」を連想しますが、船橋市内では囃子を伴わない悪魔祓い、疫病除けを主眼とする行事が主です。金堀の初ばやしもこうした初ばやしの一つで、少年たちが神輿を担いで集落を回り、各家の玄関先

でかけ声をかけながら悪魔祓いをします。

▶60軒ほどの家を回って悪魔祓いをする



所 船橋市金堀町471
(日枝神社より)

時 17:00～

☎ 047-436-2898

(船橋市教育委員会 文化課)
交 JR船橋駅北口より豊富農協前行きバスで「金堀」下車、徒歩1分

西部
船橋エリア
北部
エリア

P80・B-2 印内／八坂神社より

見学自由

1月23日

三匹の獅子が駆け巡る厄除け行事

はる

春ギトウ

春ギトウ(ムラゲト)は、年の初めに神様(御神体)や曼荼羅の掛軸をもって各家を回り、悪霊退散・家内安全を祈禱する行事で、印内では三匹の獅子などが定められたコースに従い家々を回ります。獅子は門口で「オーッ」とかけ声をあげ、家の中を駆け巡って厄払いします。獅子のあと、玄関先で剣をもった二人が「祓いたまえ、清めたまえ、家内安全八坂の大神」と唱え、更に神主、御神体が家人をお祓いします。

所 船橋市印内2-7-8
(八坂神社より)

時 15:30～

☎ 047-436-2898

(船橋市教育委員会 文化課)

交 京成電鉄 京成西船駅より徒歩19分



▲獅子をもって各家を回る様子

P81・D-4 三山/二宮神社

P79・C-3 宮本/船橋大神宮

市指定無形民俗文化財(神楽) 見学自由

2月3日

節分祭でしか見られない招福追儼の神楽

せつ ぶん さい

節分祭(船橋大神宮の神楽/二宮神社の神楽)

船橋駅周辺エリア
薬台台・三山エリア

二宮神社の節分祭。「獅子舞」が舞われているところ

節分はもともと各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことを指し、「季節を分ける」ことも意味しているといわれます。江戸時代以降は特に立春の前日を指す場合が多くなりました。

船橋市内の寺社でもそれぞれ節分祭が行われます。船橋大神宮では豆まきと神楽の奉納(4座)が1日2回行われ、境内はにぎわい、奉納される神楽で「恵比寿大黒舞」は、節分祭でのみ演じられます。

船橋大神宮の節分祭では、神楽が2回奉納される



三山の二宮神社の節分祭でしか演じられない神楽(大黒舞、獅子舞、鬼の舞)が社殿で演じられ、鬼の舞のあとには参拝者たちが拝殿から屋外へ逃げ出る鬼に豆を投げつけます。

〈船橋大神宮〉

所 船橋市宮本5-2-1 時 12:00～、16:00～(共に神楽)

☎ 047-436-2898(船橋市教育委員会文化課)

交 京成電鉄 大神宮下駅から徒歩3分 指 平成7年6月26日

〈二宮神社〉

所 船橋市三山5-20-1 時 14:00～(神楽)

☎ 047-436-2898(船橋市教育委員会文化課)

交 JR津田沼駅北口から二宮神社行きバスで終点下車

指 平成7年6月26日



P82・B-4 中野木／八坂神社

市指定無形民俗文化財 見学自由

2
月
初
午

悪霊や悪疫を防ぐ

中野木の辻切り

「辻切り」とは、「辻」(村境)を「切る」ことで、悪霊や悪疫が村内に入っ
てこないようにする行事です。地域によって名称や形態、時期などが変わら
ますが、中野木では毎年^{はつうま}初午(2月最初の^{うま}午の日)に、藁で
つくった大蛇を木にかけます。

行事に参加するのは中野
木の農家、旧農家の方たち。
東西2組に分かれ、東が雌、
西が雄^{おす}の大蛇を1匹ずつ、八
坂神社で製作します。完成し
た大蛇は全長5m半ほどになり
ます。

大蛇にお神酒^{みき}を呑ませるな
どの決まりごとを行った後、前
年の大蛇を木から取り除き、
新たな大蛇を巻きつけて固定します。

起源についてはよくわかっていませんが、
中野木の辻切りは藁の大蛇が大きく、古くか
らのかたちを伝えているといわれています。

市内では中野木のほかに、楠が山、鈴身、
宮本(宮之内)などでも行われており、藁蛇を
作る所(中野木、楠が山)、ワラを輪にして
使う所(鈴身、宮本宮之内)など、その形
や方法はさまざまです。



飯山満町・高根町エリア

東組の大蛇(雌)
西組の大蛇(雄)



所 船橋市中野木1-12-1 (八坂神社)

時 13:00～

☎ 047-436-2898

(船橋市教育委員会 文化課)

交 JR東船橋駅・津田沼駅から徒歩15分

指 平成9年4月24日

➡近隣で見られる文化財

①八十八ヶ所札所大絵馬(能満寺)・・・P60

②東葉高等学校正門……………P63



P78・B-3 本町／不動院

市指定無形民俗文化財

見学自由

2月
28日

大仏に白米の飯を盛り上げ、供養する

だい ぶつ つい ぜん く よう
大仏追善供養

船橋駅周辺エリア

文政8年(1825)からおよそ200年、毎年同じ日に行われている「大仏追善供養」。供養が行われるのは本町3丁目の不動院にある石造釈迦如来像で、この像は、延享3年(1746)8月1日の津波によって溺死してしまった漁師、住民の供養のために建てられたものです。

大仏追善供養が文政年間から行われるようになったのは、文政7年(1824)に船橋村と猫実村(現在の浦安市)が専漁場の境界をめぐる係争中、猫実村と東宇喜田村(江戸川区)の漁船多数が一橋家(御三卿家)の幟を立てた船の指揮のもと、境界内に侵入してきました。船橋の漁師がこれを妨げようとして激突し、このとき船橋の漁師が一橋家の幟を奪って同乗していた侍を殴打したため、漁師総代3人が入牢させられ、うち2名が亡くなりました。以来漁師一同が1日休漁し、先の津波の溺死者の霊とともに供養を行うことになりました。供養の日には、釈迦如来に白米の飯を盛り上げるようにつけます(写真参照)。これは牢内で食が乏しかったことを償うためといわれています。

このような行事は全国的にも珍しく、船橋の漁師町の歴史を示すものです。



所 船橋市本町3-4-6(不動院)

時 10:00～

☎ 047-436-2898

(船橋市教育委員会 文化課)

交 JR船橋駅、京成電鉄 京成船橋駅から徒歩10分

指 昭和47年12月21日

➡近隣で見られる文化財

① 明治天皇船橋行在所……P46

② 難陀龍王堂……………P47



◀白米の飯を盛り上げた釈迦如来